

【速報版】八戸市多文化共生推進プラン策定に向けた実態調査の結果について

1. 調査の概要

- ・八戸市多文化共生推進プラン策定に向け、市内の日本人住民、外国人住民及び事業者の現状や意識等を把握することを目的に、令和7年9月16日(火)～9月30日(火)の調査期間で以下の3つのアンケート調査を実施した。
- ・回答方法については Google フォームによる回答を基本とし、高齢者の割合が高い日本人住民については紙(郵送)による回答を併用し回答率の向上を図った。

区分	調査対象	対象総数	回答数	回答率
(1) 日本人住民	八戸市に住所を有する満 18 歳以上の外国籍を有しない者、市政モニター登録者	604 件	310 件	51.3%
(2) 外国人住民	八戸市に住所を有する満 18 歳以上の外国籍を有する者	486 件	179 件	36.8%
(3) 事業所	市が把握している外国人材を雇用している事業所(特定技能雇用機関及び介護事業所)	85 件	43 件	50.6%

2. 回答の傾向

(1) 日本人住民アンケート

- 外国人とは直接的な接触はないという回答が多数
- 外国人との共生に必要な取組としては、多言語での情報提供、日本語教室、交流イベントなどが多く選ばれている。
- 多文化共生推進プランの策定に賛同する人の割合は 64.0%で、概ね理解が得られている。
- 外国人住民が増えることについて漠然とした不安があると回答した人は 53.1%
- 当市において日本人と外国人が協力し合う社会が実現していると回答した人は 8.7%

(2) 外国人住民アンケート

- 生活満足度は、満足しているが 64.8%、どちらかといえば満足が 27.9%で、9割以上が概ね満足と回答
- 当市において日本人と外国人が協力し合う社会が実現していると回答した人は 71.5%で、日本人の回答と大きな差がある。
- 地域の日本人と外国人が交流するイベントに参加したい人は 70.4%であり、交流の場の拡大が求められている。
- 今後の滞在意向では、できるだけ長く八戸に滞在したいが 48.6%で最多
- 困りごととして、交通の不便さ、ごみ出しルール、偏見や差別、生活情報の不足などが挙げられている。
- 生活情報の入手先として、ソーシャルメディア、友人・知人からの口コミ、勤務先が多い。

(3) 事業所アンケート

- 外国人材を雇用した効果として人材確保の安定化を挙げた事業所が 86.0%
- 外国人材を雇用しているうえでの課題として、コミュニケーションが 62.8%、生活支援が 46.5%となっている。
- 今後の外国人雇用については、現状維持が 46.5%、増やす予定が 34.9%と、引き続き雇用を継続・拡大する意向が強い。
- 市に行ってほしい取組として、日本語教育を挙げた企業は 58.1%、住宅・生活支援が 55.8%となっている。

3. 今後の予定

- ・本資料は速報版であることから、自由記述及びクロス集計の分析は割愛している。
- ・今後は、これらを含めた詳細な分析を行い、次回審議会において中間報告を行う予定である。